

やまだ

頑張る方を
応援します！
「社協マン」



福祉のひろば

社会福祉法人 山田町社会福祉協議会



災害ボランティア養成講座
「被災家屋の床板はがし模擬体験」(記事 P2)

12

2020
12.15

No.142

も
く
じ

- ◆ 災害ボランティア養成講座 2
- ◆ 災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練 3
- ◆ 福祉団体活動報告
日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業 4
- ◆ 生活福祉資金「教育支援資金」のご案内 5
- ◆ 生活支援相談員の活動紹介 6~7
地域支え合いマップづくり、「ひなたぼっこ」3拠点の様子
- ◆ 生活支援コーディネーター活動・地域のガンバルびと ... 8~10
- ◆ ご報告・ご紹介・お知らせ 11
- ◆ 福祉基金・その他 12



災害ボランティアセンター 設置・運営に係る研修訓練

行政・社協・NPO等の「三者連携」による、センター設置運営、情報共有の訓練



令和2年11月15日（日）、岩手県社会福祉協議会が主催する「災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練」が宮古市総合福祉センターを会場に実施され、総勢31名が参加しました。

この研修は宮古・下閉伊地区各市町村（宮古市・山田町・岩泉町・田野畑村）の行政、社会福祉協議会、NPOや民生委員、ボランティア団体等が一堂に会する「三者連携・協働」の訓練で、今年度初めて開催されました。

また、この宮古広域圏を応援する社会福祉協議会（盛岡市・紫波町・矢巾町・釜石市・大槌町）職員も参加し、平時からの顔の見える関係づくりの場ともなりました。



感染症対策チェック後のボランティア受付訓練の様子



情報共有会議シミュレーション

ランティアセンター設置から運営にかけて一通りの流れを実践。ボランティアの受付では、このコロナ禍により感染防止対策も含めた対応（検温や手指消毒、体調チェック等）も加えて実施しました。

次に災害時に活動する様々な機関・団体等が円滑な復旧復興活動を行うための「情報共有会議」をシミュレーション。自分の組織では解決できない事案を他機関・団体との連携により対応可能とするための大事な会議となります。

このように、**平時から災害に備える継続的な取り組み**が、更に重要となつてきます。

※本訓練は県内各広域圏で実施されます。



災害に備える「知識」と「連携」

近年、気候の変化からか毎年のように全国各地で各種の自然災害が頻発しています。いつどこで発生するか予測がつかない場合も多く、山田町も当然例外ではありません。

令和元年10月、日本列島に上陸した「台風第19号」災害から1年と2カ月が経ちました。

町内各所においても甚大な被害を受け、被災された方々は現在も不自由な生活を余儀なくされている状況にあります。「災害に備える知識と連携」をテーマに、平時からの「備え」や災害時の「たすけあい」を推進するため、災害対応に関する講座の開催や研修訓練への参加を致しました。その様子をご紹介致します。

災害ボランティア養成講座

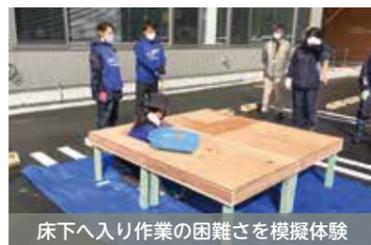
水害を想定した家屋の床板はがし模擬体験



〈講師〉いわてNPO災害支援ネットワーク アドバイザー 大向 昌彦 氏



一般参加者の皆様



床下へ入り作業の困難さを模擬体験



フローリング床板はがしの模擬体験

令和2年10月25日（日）、山田町社会福祉協議会を会場に「災害ボランティア養成講座」を開催。総勢23名の方々が集いました。

この講座はいわてNPO災害支援ネットワーク（通称INDS（インデイス））が主催し、山田町と山田町社会福祉協議会の共催による初の「三者連携」事業となります。

また、この講座は前年の10月に開催を計画するも、台風第19号の影響により、今年度へ延期されたものです。

一般参加者に併せ、社会福祉協議会の職員も参加。INDSアドバイザーである大向昌彦氏を講師に、基本的な災害対応の講義が実施されました。講義後は、台風第19号災害支援の際にノウハウがなかった家屋の「床板はがし」と「床下もぐり作業」の模擬体験を特殊なキットを用いて実践。床板はがしはコツが必要であり、床下は非常に狭く暗所であることに併せ、この中に大量の泥があると思うと、除去作業が容易ではないことが想像されました。

参加された町民の方からは、講師へ積極的に質問をされ、災害に備える知識を学ばれていた姿が印象的でした。

生活福祉資金「教育支援資金」のご案内

ご利用いただける世帯は？

- 一定の所得以下であって、必要な資金の融資を他から受けることが困難である世帯。
- 低所得世帯とは、世帯の収入がおおむね市町村民税非課税程度又は生活保護法に基づく生活保護算定基準額の1.7倍程度以下の世帯となります。

※ご自分の世帯が「対象」となるかは下記までお気軽にご相談下さい

貸付金の返済方法は？

- 原則として、「ゆうちょ銀行」又は「岩手県内に本店のある金融機関」の預貯金口座からの自動引落となります。
- 返済期間は、卒業後、据置期間が終了してから20年以内の設定が可能です。期間内に返済が終了しない場合は、残りの元金に対し年3%の延滞利子が発生します。

教育支援資金とは？

生活福祉資金の教育支援資金とは、国と県が資金を出し合い、民生委員や社会福祉協議会の相談支援のもとに所得の少ない世帯（生活保護世帯を含む。）に対して、学校教育法に基づく高等学校、大学（短期大学、専門学校（専修学校専門課程）、専門職短期大学及び専門職大学を含む）又は高等専門学校の就学費用を無利子で貸付するものです。

ご利用いただけない方

- 本会が実施している生活福祉資金の連帯保証人になっている方。
- 他の負債との関係で、本資金を貸付けることにより、その後の生活を著しく圧迫するおそれがあると判断された方。
- 母子・父子・寡婦福祉資金の借入が可能な方。
- 独立行政法人日本学生支援機構からの借入が可能な方。 ※但し、状況により利用可

教育支援資金の種類と貸付額

資金種類	対象経費	貸付限度額	据置期間	返済期間	貸付利子
教育支援資金	低所得世帯に属する者が学校教育法に規定する高等学校（中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部及び専修学校の高等課程を含む。）、大学（短期大学、専門学校（専修学校専門課程）、専門職短期大学及び専門職大学を含む。）又は高等専門学校に就学するのに必要な経費。	高校 月 35,000 円以内 高専 月 60,000 円以内 短大 月 60,000 円以内 大学 月 65,000 円以内 <small>※上記貸付限度額では学費が不足する場合など、一定の要件に該当する場合には、教育支度費の貸付限度額を1.5倍とすることが可能となりました。（平成28年2月以降貸付決定分から）</small>	卒業後 6ヶ月以内	20年以内	無利子
	低所得世帯に属する者が高等学校、大学、又は高等専門学校への入学に際し必要な経費。 ※入学時に限る	500,000 円以内			

ご相談・お問合せ先 山田町社会福祉協議会 ☎ 82-3841 / 080-6033-3599 (直通)

山田町民生委員・児童委員協議会

多年にわたり、民生委員・児童委員として社会福祉事業の推進に貢献され、その功績が認められ受賞された方々をご紹介します。

岩手県知事表彰
民生委員・児童委員
木村 幸喜様

岩手県社会福祉大会会長表彰
社会福祉事業功労者
中村 あづ子様
佐々木 賢一様
上野 ルリ子様
大宮 好子様
尾形 弘子様

全国民生委員児童委員連合会会長表彰
永年勤続民生委員・児童委員表彰
佐々木 善朗様



10月30日に開催された岩手県社会福祉大会の様子

山田町老人クラブ連合会

多年にわたり、老人クラブ活動に貢献され、その功績が認められ受賞された方々をご紹介します。

岩手県知事表彰
佐々木 鋼文様
(現飯岡老人クラブ会長)

岩手県老人クラブ連合会会長表彰
会員表彰の部
老人クラブ育成指導功労者表彰
篠澤 政夫様
(現白石老人クラブ会長)

団体表彰の部
優良単位老人クラブ表彰
豊間根老人クラブ様



飯岡老人クラブでの佐々木鋼文様受賞を祝う様子

各種「自立支援事業」のご案内

生活困窮者自立支援事業

就職、住まい、家計等様々な理由で生活に困りの方へ、困りごとの解決に向けた計画を専門職員と一緒に考えます。必要な制度や社会資源につなげる他、その方が暮らす地域に合った支援を継続していきます。お悩みの方はまずご相談下さい。困窮理由が金銭に起因すると判断される場合には、併せて生活福祉資金制度の利用も検討されます。

【お問合せ先】

宮古圏域くらしサポートセンター
☎ 0193-65-8815
〒027-0052 岩手県宮古市宮町3丁目10-55-201

日常生活自立支援事業

高齢者や障がいを持った方が地域で安心して生活が送れるよう福祉サービスの利用手続きの援助や代行、それに伴う日常的な金銭管理を行う事業です。具体的なサービス内容は次の3つです。

- ①福祉サービスの利用援助
- ②日常的な金銭管理サービス
- ③書類等預かりサービス

【お問合せ先】

宮古地域福祉権利擁護センター
☎ 0193-64-5052
山田町社会福祉協議会 ☎ 0193-82-3841



地域見守り支援拠点の様子

ひなたぼっこ おおさわ

県営大沢アパートでは、毎週火曜日と金曜日の10時から駐車場で地域の方々も交えてラジオ体操を実施しています。その後は集まった皆さんと「雑談会」。心と身体に良い習慣となっています。

先日は集会所において「昔懐かしのスライドショー」も開催しました。今後も皆さんと相談しながらいろんな行事を企画していきます！



開館について

月曜日から金曜日
9:30～15:30

※10月1日より開館時間を変更しました



展示させて頂いた作品
※1部掲載



開館について

月曜日から金曜日
10:00～16:00

ひなたぼっこ やまだ

ひなたぼっこ・やまだでは、町民の皆さんの作品を展示する「ミニギャラリー」を実施しています。

作品を観に来られた際、久々に会う方や新しくお友達になったり、いろんな方との交流の機会になっています。是非お立ち寄りください！



ひなたぼっこ とよまね

松ぼっくりとつるを使ってクリスマスツリーをつくるワークショップを実施しました！材料を集めて下さった方ありがとうございます！

開館について

月曜日から金曜日
9:30～15:30

※10月1日より開館時間を変更しました



地域



マップ

支え合い 取組み 紹介

地域支え合いマップってなに？

みなさんが暮らす「地域」を50世帯程に区分けして地図をつくり、その地域の「気になる人（心配な人・困っている人等）」と近隣住民の関わりを書き込んでいく取り組みです。※下記マップはイメージです。

マップを作ったってどうなるの？

一例ですが、次のようなことが作成の過程で起こってきます。

- ★自分の暮らす「地域の知らなかったこと」が見えてくる！
- ★自分だけの困りごとと想像していたけど、実は「地域みんなの困りごと」でもあったことに気づく！
- ★地域の状況が「目に見えてわかる」ため、支えを必要とする方や地域の

どんな雰囲気の話し合い？

1地区で2～4名程の住民の方々にご協力頂き、雑談も含めながら90分程地域の情報を共有していきます。和気あいあいとしたり、課題に悩んだり、アイデアを出し合ったりと、参加されている方は自分達の暮らす地域のために真剣に取り組まれています。

マップの完成が目的ではない

支えを必要とする方や地域の状況は日々変化します。今は良くても数年後には…、というように「一度作って終わり」ではなく、常に課題と向き合い話し合う「過程」に意味があります。

課題が明確になり、解決策が立てやすい！



主役は住民の皆さんです

支え合いマップ・インストラクターが、住民同士で支え合う地域づくりのお手伝いをします

織笠第2団地の皆さんの取組みの様子 ※他の地区でも実施されています



グラウンドゴルフ

ベンチ塗装の際、「緑地帯は広さもあるし、何かできそうだな〜」との声が聞かれました。中には以前グラウンドゴルフをしたことがあるという方もいました。

そこで、ベンチの活用と交流のきっかけ作りを目的として、10月末より田の浜第8団地緑地帯にて3回実施！



最初にラジオ体操から始め、4コースでゲーム開始！「初めてでも挑戦しやすく、皆で楽しめる！良い運動にもなる！」との声もありました。また、ベンチを利用して休憩をはさみながら、談笑の時間も楽しんでおられる様子が伺えました。



グラウンドゴルフは (大浦高台防災公園) 大浦地区でも行われています！



週1回水曜日の午前9時から高台にある防災公園で暑さ寒さにも負けずグラウンドゴルフをしています。ラジオ体操をして体をほぐしてから**手作りのコース**を回ります。男性陣だけで始まった集まりも、今では女性も参加する交流の場に。楽しく！元気に！にぎやかに！ボールを追いかけています。



田の浜アクション90

の話し合いで、「田の浜第8団地には集会所がないこともあり、家から出ない方も多い。」「田の浜地区にはいつからかわからないがベンチが置かれており、そこには誰かしらが座っていて人が集まっている」との意見が聞かれました。そこからヒントを得て、ベンチを設置することになりました。

主に男性の方々にチラシの配布、声かけを行いました。「ベンチを置いても誰も座る人はいないだろう」といった意見も多かったものの、当日は予想以上の方が集まってくれました。



自分達の暮らす地域を
自分達のアクションで
より良い地域に
田の浜第8団地の皆さん

八幡下バス停に1つ、田の浜第8団地緑地帯に2つ設置しました！
緑地帯ベンチは海側の見晴らしの良い、誰でも気軽に腰をかけて話ができる場所です。
八幡下バス停ベンチは、バスの利用者、郵便局へ歩いて行かれる方々の休憩場所として活用されます。



ベンチは仮設住宅で使われていたもの（生活支援コーディネーターが役場の許可を得て調整）皆さんにはベンチのペンキ塗りをして頂きました。漁に携わっている方が多いせいか、手際がよく、仕事も早い！あっという間に塗装完了!!



生活支援ボランティア「**ぺんこさん養成講座**」参加者募集！

日常生活の「ちょっと**（ぺんこ）**のお手伝い」をするボランティアの養成講座を開催します。「ぺんこ」なお手伝い「ぺんこ」な時間で始めてみませんか？ 聞くだけの参加でも大歓迎！ 気軽にお越し下さい。



地区	開催日	会場
田の浜	1月7日(木) 8日(金)	田の浜コミュニティセンター
大浦	1月12日(火) 13日(水)	大浦漁村センター
船越	1月19日(火) 20日(水)	船越防災センター
大沢	1月21日(木) 22日(金)	ふるさとセンター
織笠	1月26日(火) 27日(水)	織笠コミュニティセンター
山田	1月28日(木) 29日(金)	飯岡コミュニティセンター
豊間根	2月2日(火) 3日(水)	豊間根生活改善センター

2日間ともに10:00～12:00の講座となります

【受講対象・定員】

山田町内に在住で支え合い活動に興味のある方
各地区10名程度（先着順）

【プログラム】

= 1日目 =

- ◆生活支援体制整備事業について
 - ▶山田町の今とこれからを知ろう
 - ▶何が出来るかいっしょに考えてみよう

◆初めてのボランティア

- ▶ボランティア活動の魅力を知ろう

◆教えてボランティアさん

- ▶活動している人に聞いてみよう

= 2日目 =

- ◆ためになるボランティア訪問時のマナー対応
- ◆山田町で求められているぺんこなお手伝い

【参加申込み・問い合わせ先】

山田町社会福祉協議会 生活支援サービス係
電話番号：080-5849-5736

【申込み締切】12月25日まで

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、延期または中止になる場合がありますのでご了承ください

行事等中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染防止対策の為、下記行事を中止することとなりました。皆様のご理解をよろしくお願い致します。

▶1日こども民生委員事業

地域歳末たすけあい募金運動による
義援金の配分中止について

新型コロナウイルス感染防止対策の為、歳末たすけあい募金運動が中止となりました。このことにより、当配分金の財源が確保できないことから、今年度対象者への配分は行いません。皆様のご理解をよろしくお願い致します。

地域の **ガンバル** びと

紹介

大浦地区 むーみん谷のばばの会

閉校になった大浦小学校校庭の草がにぎやかになっているのが気がかけていました。「学校としては使われなくなっても避難所としても利用されるのだから、校庭も体育館もみんなでキレイにしよう！」と声をかけて春から始めて8回を数えました。これをきっかけにして子どもから大人まで巻き込んで、何かしかけようと知恵袋をしぼっている所です。



！地域でガンバル方々の情報を募集しています！是非投稿してみませんか？ ☎77-3260 地域福祉課

ボランティアセンターからのお知らせ

「災害(防災)ボランティア」の登録をしてみませんか？

社会福祉協議会では災害発生以後に活動頂ける「災害(防災)ボランティア」の登録を推進しています。

平時からのご登録により、「顔の見える関係づくり」や「防災関係の研修・講座」等のご案内や情報提供も可能となります。

手続きは??

当会の備え付けの登録用紙に必要事項を記入いただきご提出下さい。

また、下記メールアドレスに送信頂ければ、登録用紙を送信させていただきます。

E-mail : h-abe@yamada-shakyo.or.jp

【お問合せ先】地域福祉課 ボランティアセンター ☎77-3260 担当者 阿部

お手伝いします 安心・安らぎ・生きがいのある暮らし

株式会社 小田島アクティ

本社 岩手県花巻市東町1-5 ホームページアドレスhttp://www.odashima-acty.co.jp

福祉用具・介護用品関係

レンタル	介護用品販売	大人用紙おむつ宅配	住宅改修	医療機器販売	カタログのご案内
介護用品部	釜石営業所 岩手営業所 高田営業所	釜石市鶴住居町第8地割36-1 神ノ沢地区仮設企業団地F棟-2	盛岡市津志田町1丁目11番15号 陸前高田市高田町字鳴石15-1 区画1	電話0193-28-3801 電話019-636-1208 電話0192-55-5228	FAX0193-28-3821 FAX019-636-1203 FAX0192-55-5340
福祉用具センター	ぼだいじゅ ぼだいじゅ一関	花巻市東町1番5号 一関市山目字前田72-1		電話0198-21-1037 電話0191-23-6140	FAX0198-24-3787 FAX0191-23-6140
医療食品・通信販売	医療食品部内 まごころ受注センター	盛岡市津志田町1丁目15番37号		電話フリーダイヤル0120-92-1480 FAXフリーダイヤル0120-92-1478	



善意のご寄附ありがとうございました。 会長 箱石 紅子

基金の果実による資金は、山田町民全体の地域福祉増進のため有効に活用させていただきます。
令和2年8月20日から11月11日において、次の個人・団体から福祉基金と義援金のご寄付を頂きました。

福祉基金

- ◆ ひなたぼっこ豊間根利用者様 4,250円
- ◆ 山崎啓一様（神奈川県） 100,000円

令和2年度福祉基金累計額 219,491円

災害義援金

- 令和2年7月豪雨災害義援金
- ◆ 県営北浜アパート自治会様 39,800円



県営北浜アパート自治会長様からの贈呈

山田町社会福祉協議会お問い合わせ先一覧

▶ 社協全体に関すること(福祉団体)…総務課

- ・事務局 Tel 82-3841
Tel 090-3123-6208

▶ 介護サービスに関すること…在宅福祉課

- ・ケアマネジャー Tel 82-5687
- ・ヘルパー、入浴車 Tel 82-4000
- ・障がい者支援 Tel 82-4000
- ・さいかち学級 Tel 82-4000
- ・移送サービス事業
- すけっと君 Tel 82-3841
Tel 090-5593-0523

▶ 地域福祉に関すること…地域福祉課

- ・生活支援相談員 Tel 77-3260
- ・生活支援コーディネーター Tel 080-5849-5736

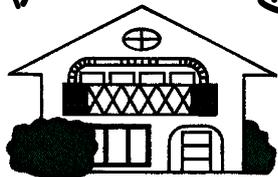
▶ ボランティアに関すること

- ・ボランティアセンター Tel 77-3260

▶ 配食サービスに関すること Tel 82-3841

〒028-1321
下閉伊郡山田町山田第15地割82番地2
TEL 0193-82-3841(代表) FAX 0193-82-5670

介護リフォームで
快適な暮らしを



介護用品販売
レンタル リフォーム

第一商事(株)

レディース・アイ

おもいやりをかたちに。

第一商事(株)



LADY'S EYE

レディース・アイ

事業部

介護保険事業所番号 0370100166

- 福祉用具販売 ●福祉用具レンタル
- 住宅リフォーム(高齢者向き) ●健康機器販売

〒020-0807 岩手県盛岡市加賀野一丁目19-29

TEL(019)651-0121・FAX(019)651-0052

〒027-0025 岩手県宮古市実田一丁目8-7

TEL(0193)63-8151・FAX(0193)63-8187

URL <http://www.dai-ichi.com> e-mail: info@dai-ichi.com



ふれあいネットワーク

社会福祉法人 山田町社会福祉協議会

〒028-1321 岩手県下閉伊郡山田町山田第15地割82番地2

TEL: 0193-82-3841 FAX: 0193-82-5670

E-mail: y-shakyo@yamada-shakyo.or.jp ホームページ <http://www.yamada-shakyo.or.jp>

[企画・発行] 社会福祉法人 山田町社会福祉協議会 [印刷] 株式会社 東海印刷所

広告の依頼は社協まで

※ この広報誌は、赤い羽根共同募金配分金の一部を充てて発行しています。